臺灣日日新報
本日四頁
昭和十五年二月五日（月曜日）
臺灣日日新報
第一万四千三百三十號
A（一）
（第二版）（明治一年五月九日第三種郵便物認可）

政府全力を擧さん

聖戰目的への疑惑一掃に

小山議長不信任

四派共同して提案

【東京四日發同盟】政府は齋藤氏の言論問題の處行きについては重大關心を拂ひつゝ衆議院の適當な處置を期待してをり、同問題のため議事が阻碍したことにつき戰時國會の名に醜はぬものとの非難も起つてゐるが、これについては政府は齋藤氏の言論が聖戰目的に對する疑惑を國民の間に一人としても存在するが如き誤解を與へ重視し所の如き疑惑こと撤廢することを衷心より希望してをりこれを撤廢することを能ます憲政的に問題の核心を衝きこれを明瞭することこそ當時國會の本義なりとしてゐる

【東京四日發同盟】社會大衆黨、政友本黨、時局同志會、第一議員俱樂部では同派共同提案をもつて二日小山衆議院議長の不信任案を決議、衆議院當局に提出したその提案理由は左の如くである

一、昨二日の齋藤氏の質問演說は前後一時間の長きに亙つてゐたに拘らず該演說が中止又は注意を與へなかつた議長の手落ちである

一、演說の削除は議長の職權でやれるものであるがこれは字句の訂正削除又は十行二十行位の削除に止まるべきものであつて二時間に亙る演說の三分の二を削除する如き擧措は院議に從るべきである、この點職務行怠と認める

一、演說の削除は議長の職權であるがこれを以て直ちに議員の發言を封ずるが如きは憲法の精神に反するものである

一、議長は本會議の開會時間が延長してゐるがこれは議長の職權が宜しからざるに基くものである

一、昨二日の齋藤氏の質問演說は前後一時間の長きに亙つてゐたに拘らず該演說が中止又は注意を與へなかつた議長の手落ちである

失言問題を惹起した壇上の齋藤氏

登院停止（一定期間）程度か

齋藤氏懲罰委員會

【東京四日發同盟】齋藤氏の失言問題に關し小山議長の斡旋によつて同氏を懲罰委員會に附することに決定依つて同委員會は五日午前十時院內で第一回委員會を開會に先立ち同

【東京四日發同盟】衆議院では四日午後一時より本會議を開き國務大臣の演說に對する質疑を續行、齋藤代議士の演說に關する質疑(久原房之助氏)、高田耘平氏(民政)、河上丈太郎氏(社大)、浦部一郎氏(民政)、(時局)が立ち本會議は

激流 (94)

椿貞三(一)

久生十蘭作
伊勢良夫畫

冬空がどういふつもりであんなに厚ぼったい雲をみなどしたのか、いよいよわからなくなつてくる。

寒波は、櫛比に悩みながら、さまざまな感情の波路の中でウロウロと躊躇をしてゐたが、とうとう決意をして、この方へ、あつさりと投げてしまつた。

どんな場合にも、自己を高く持つことこそ、人間の偉さの根本だと思つて、この方へ、あつさりと投げてしまつた。

海のやうな深い色をした初冬の空の高いところを、旅客機が、鷗のやうに翼をひろげて通つて行く。

風と波と雑木林に三方から囲まれた海の見える丘の上で、寒波は、気持よく足を投げ出して坐つてゐた。

近くに子供の声があるらしく、甘い切ひ空気の中にまじつてゐる。

食堂で、母子と夫婦を泊めてゐたが、いつまでたつてもやつて来ないので、自分だけで軽い朝の食事をすませて、庭へ出てきた。

陽の色は、健康で、明るくて、樹の緑を濃く木の葉を溶かした真面目なやうすをしてゐる。

ざういふものに取巻かれて坐つてゐると、昨日の興奮しや、人との交渉などはいかにもあわただしく生活の波に揉まれながらあくせくしてゐるのがひどくつまらないことのやうに思はれてくる。

母子が、昨夜遅く旅館の厳重な戸締をぬけ出して、こつそりと夜のある農家へ出かけて行つたことが、今朝までずつと寒波の心を曇らせてゐた。

母子の思ひ切つたやり方を怨むよりも、むしろ感謝の気持のほかに、さういふことがあつたればこそ、母子が、今朝早く、一緒に朝食をとることができるのだと思つた。

過去に、母子と冬彦の間にどんなことがあつたのかまるつきり知らないのだから、それについて自分などが不用意なことにちがひなかつたりをした考へ方をするのは、たしかに僭越なことにちがひなかつたさういふ光景を見たあとでは、平気で通用するやうな理由はどこにもないやうに思はれた。

寒波は、母の上にしつかりと根を下した松のやうな、すこし古めかしいが、厳粛とした倫理の観念をもつてゐる。都合の悪い問題ぐらゐでたやすくそれが揺がされるやうではないとしても、眼に見えないところで自分が苦しすることに、堪へられてゐるやうな弱点して不安でたまらなかつたが、この寒波の心の中にある安心を抱き出してゐるうちに、すこしづつ自信が戻つてきて何ともかねやヤレヤレしたものはサッパリと消えてなくなつた。

寒波の心には、すこしひと過ぎる母子のやり方だが、ひよつとすると、他人などにわからぬ何か複雑な事情があるのかも知れない。現実だけで軽率に非難したり嫌悪したりするのはつつしむ方がいいと考へ、そのことには自分の感情をあまり深入りさせないことにきめた。

同時に、日暮を吹きながら楽しい気持を述べてゐる時、彼はまだ居残つて、昨夜を前に苦しんでゐる、日暮にも、今日にも出勤してゐる、日暮にも、永遠に片づくことのない仕事に精出してゐる、若し此の都合が何かでどうしても出勤できないとか、旅行でもしなければならぬ時の仕事中毒者の苦しみは眼にある。

心はたえず会社の机のまはりに飛んでゐるから何をしても失敗する、馬鹿か狂人のやうである。医者はこれを「日暮神経病」といつてゐるが、かういふ人は折角の休養日を一日中苦んでゐなければならない狐の憑た人である。そして、かういふ人の主人こそ災難である。

何であらうと一日中緊張してゐなければ気が済まない、ヒマがあると苦痛でしようがない——それが職業婦人の表現であるよりは、本当ならその人は病人である。

世間には自分の職業がイヤでイヤでたまらないといふ人がある。その半面にほとんど絶対に仕事にけりをつけないで、職業を忘れて働く人もある。精神的なことといふものが、医学上から見ると、どちらも悪く神経病にとりつかれてゐるのである。

では、世間の人間は、怠けものも、働きものも、度を過ごした神経病患者かといふことになるが、まさしくその通り、今日は世をあげての神経病時代といつてよいほどの病ひだらけになつてゐる。

我々にとつて仕事は絶対の必要である、仕事がなければ生活もやつてゆけないし、地位を築くことも、人から尊敬されることも、また人に感謝を与へることも、名誉を得ることも——言ひかへれば人生の一切を失ふ。

× ×

しかし、いくら必要性仕事であつても、イヤであつては困る、またがイヤであることを必要としない、時としてイヤ仕事の中に楽しさを発見した仕事をしてゐる人々の場合にあつては、不幸にも思ひのままに便ひこなすことができず、本当に愉快を感ずるものである、いはば本当の仕事といふものは子供の遊戯と同じやうに心から楽しいものでなければならない、と学者はいつてゐる。

普通の場合——健全な男女は自由に仕事にとりかかり、また自由に仕事を終る、朝朝、いくらか興奮して仕事をはじめ、夕方にはさつさと仕事をつて二階へ、倶楽部へ、シネマへ——それぞれ休息の場所へ引揚げる。

× ×

神経病患者たちといふ人々は仕事が厭ふべき強制でもあつたり、中絶してしまつた場合であつたりする、夢中になつて働いてゐるが仕事が成功するのが楽しみだといふ人は一人もゐない。仕事が厭ふべきものであつたり、中絶してしまつた場合であつたりする、夢中になつて働いてゐるが仕事が成功するのが楽しみだといふ人は一人もゐない。

その理由は？

第一、かういふ仕事心は、能率が絶対に正比例しないから困る事務机の上には、未了の事務が山のやうに積まれてあるにちがひないが、計画の済まない憂鬱、悩めくるめくるめくるめ

詠進歌"萬民の祝"
天覽に供し奉る
四月二日神武天皇祭に當り

【東京四日發同盟】擡やく皇紀二千六百年に際し特に民草の赤誠を表せられて聖進を奉祝される新春以來赤誠こもる聖進歌は全國

群がる敵兵を蹴散らし
敢然と高地を死守
壯烈な我等が大村部隊の奮戰

【廣東四日發同盟】攻撃の部隊は南寧二十四日以來南進北方地區の總攻撃に參加し敵の總攻撃を粉碎しつゝあるが大村部隊の高地死守と殲滅戰の凄絶さは實に壯絶なものがある○○部隊は二十九日○○○○の為め八時七時中間の要點地に大村部隊を守備に當らしめて主力は七時二十分頃より敵を追撃中三十日午前四時頃追撃部隊、軍人魂の音が盛んに聞こえるが何處で戰闘してゐるか判明しなかつた、夜八時頃になつて

無電が

通じ殘留した大村部隊が有力なる敵軍に包圍されて苦戰中との連絡があつたので○○部隊をはじめそれッとばかり鎭山未次部隊を以て山を包圍しながら殲滅して見ると大村部隊は數千の敵から包まれ戰線は打破ると石や巨岩又は鐵で甘い物に喰ひ道上を山の多數の敵を相手に最後の一人まで奮戰しながら力盡きて敵は手榴彈を盛んに投げ込み機關銃に移らんとしてゐる際をとらはや大村隊は全滅の危きに曝らされてゐたのであつた、此の時鎭山、未次兩部隊は敵の背後に出で兩側より機關銃其他總火力を

發揮し

急襲射擊に依り敵は潰走其後に殘し山頂より又は山の中腹より逃れる者數知れず谷底は死體の山と變さま本當の戰場を演じ敵の遺棄死體一千、鹵獲一百六十、小銃彈二百、手榴彈の頂數二千名、鹵獲兵器小銃數百、機關銃八十をあつた、此の外無數、機關銃八十をあつた、此の

賓陽縣城に日章旗
數へ切れない皇軍の手柄話

【賓陽三日發同盟】「二月二日記」元二千六百年の思ひかけに想へばこの正月は戰塵深い山の中をうつた日とも何もない戰闘と最後の苦の日々であつた、そして今、賓陽縣城に國旗の日章旗を飜した年島、角田、管間、宮島外各部隊の兵團達はゆふが今年の正月とはかり聞れ〳〵した心に浸つてゐる各部隊が賓陽へ入つたのは二日の午後八時、記者は同二十分初部隊の戰闘を聞きながら市街へ部隊とともに記者すべき第一步を印し

身に二彈を浴び乍ら

鬼人も挫く猛進撃

中村部隊長戰死の詳報

遂げた

のである、身に數知れず敵の彈丸のうちにも八時間も斷前に指揮をとつた部隊の戰闘として全軍を感激せしめてゐる

【南寧二日發同盟】昨年十二月二十五日敵機を撃ちた九塘の戰闘において身に數彈を受けつゝ指揮をとり壯烈なる戰死を遂げた中村部隊長の戰死の詳報がこの程

【敵陣四日發同盟】本日午前八時半頃敵機四機は我軍の占領せる南寧飛行場を襲撃したが我が戰闘機隊は直ちに之を邀撃し敵機二機を撃墜し殘る二機を撃退した

【新竹電話】本社特派員の御親火奉迎の實況は今や聖原の火の如く各方面に傳はり何れも此處で拜受の切火を採火し新竹驛に到着、午後一時二十分、直ちに新竹神社に向ひ御親火を奉迎すべく夫々盛裝を凝らした數萬の參拜者は今や遅しと待ち構へてゐた、この日は朝から曇空模様で時折小雨さへ降つてゐたが、參拜者は一向に意に介せず、正午前には既に數萬の人出で境内は勿論、山上に至る參道は勿論、市内各所は人の波で埋まつた、午後一時二十分、新竹驛前に整列した各學校兒童の奉迎旗を先頭に、各種團體、官民有志、一般參拜者の順に參道を進み、一時半頃には

毒瓦斯に無關心

燈火管制にも遺憾の點がある

臺中州下防空訓練講評

【臺中電話】今回下關島の下に無氣味な毒瓦斯彈に明けた臺中州第一線防空訓練第二日目はまだ午前六時と言ふにたたましいサイレンの響きに市民の恐怖は破られ引續き空襲警報發令、同四十分解除して第二日目の幕は切つて落された、今回の訓練は防空訓練の第一段階として主として防空關係官吏の動作に重點を置き一般市民の訓練は第二段階として行ふ豫定であるが、午前六時の空襲警報發令と共に各官廳、學校、會社、工場、銀行、商店等は一齊に防空服裝に身を固めて活動を開始し、各町内會、部落會、隣組等は防空團の指揮の下に活潑なる活動を開始した、尚ほ今回の訓練は豫め發表されたので同一の目標を選び、防護動作に就て一日前發表し、當日は發表を禁止し、警報發令と共に各自の防護動作を行つた、臺中市内は全部で十一區に區劃されたが、各區の防護團は夫々の區域内に於ける防空訓練を實施した、

【臺中電話】臺中州下の防空訓練は第一日目の豫定通り五日午前六時を期して一齊に實施された、今回の訓練は第一段階として防空關係官吏の動作に重點を置き一般市民の訓練は第二段階として行ふ豫定であるが、午前六時の空襲警報發令と共に各官廳、學校、會社、工場、銀行、商店等は一齊に防空服裝に身を固めて活動を開始した、尚ほ今回の訓練は豫め發表されたので同一の目標を選び、防護動作に就て一日前發表し、當日は發表を禁止し、警報發令と共に各自の防護動作を行つた、臺中市内は全部で十一區に區劃されたが、各區の防護團は夫々の區域内に於ける防空訓練を實施した、

【臺中電話】臺中州下の防空訓練は第一日目の豫定通り五日午前六時を期して一齊に實施された、今回の訓練は第一段階として防空關係官吏の動作に重點を置き一般市民の訓練は第二段階として行ふ豫定であるが、午前六時の空襲警報發令と共に各官廳、學校、會社、工場、銀行、商店等は一齊に防空服裝に身を固めて活動を開始した、尚ほ今回の訓練は豫め發表されたので同一の目標を選び、防護動作に就て一日前發表し、當日は發表を禁止し、警報發令と共に各自の防護動作を行つた、臺中市内は全部で十一區に區劃されたが、各區の防護團は夫々の區域内に於ける防空訓練を實施した、

【花蓮港電話】花蓮港廳家族協會（會長廳長）擔當所では今度豫定家族四二一般女子のため那文タイピスト養成所を設置し、一部、一部各廿名を募集し三月中旬十時間程講習して入所式を擧行、講習代理千葉廳學官の斡旋方にて同十時半開始した、尚講習期間は四月入所證書は軍人遺家族及び小公學校關係職業上の女子に限られて居る

【花蓮港電話】花蓮港廳家族協會（會長廳長）擔當所では今度豫定家族四二一般女子のため那文タイピスト養成所を設置し、一部、一部各廿名を募集し三月中旬十時間程講習して入所式を擧行、講習代理千葉廳學官の斡旋方にて同十時半開始した、尚講習期間は四月入所證書は軍人遺家族及び小公學校關係職業上の女子に限られて居る

タイピスト養成所入所式

花蓮港選家族技藝所で新設

△臺北北投溫泉（水小田日産）（交通部中）佐藤局一（同）（高砂町北七）

新港電氣解散

新港電氣利用組合では去る二月二十九日第五回總會を開き解散を決議し花蓮港電氣會社に買收を依頼したが從來個かに十キロで販賣新港の需要に充當し得なかつたが花蓮港電氣會社ではこれを三十五キロ

金買上げ高

臺銀臺東支店の一月末日までの金買上高は二十二万九千八百三十五圓で臺銀十八万七千二百八十九圓臺拓二万九千二百卅五圓二万ある

蕃地に獻穀畑

三日盛大に地鎭、播種祭

【蓮霧電話】高雄州蕃務課主催の第一回蕃地獻穀畑は三日蕃社の獻穀畑地鎭祭を行ひ、引續き播種祭を行ひ、同地は蕃社より東北一里十八町、西螺溪畔の高臺にして知られてゐる、石門蕃社の奥手遙かに南支那海を望む風光明媚の地としたもので、同地北方に當る蕃地を選定し以來地方民の敬仰する蕃人の獻穀を仰へるあたり、最も蕃地に相應しく併も同社はパイワン族人口二百五十六戸、人口一百五十五人從つて獻穀畑として獻納の全部を以て蕃社の經營に當らしめてゐる（以下は記事）

【蓮霧電話】高雄州蕃務課主催の第一回蕃地獻穀畑は三日蕃社の獻穀畑地鎭祭を行ひ、引續き播種祭を行ひ、同地は蕃社より東北一里十八町、西螺溪畔の高臺にして知られてゐる、石門蕃社の奥手遙かに南支那海を望む風光明媚の地としたもので、同地北方に當る蕃地を選定し以來地方民の敬仰する蕃人の獻穀を仰へるあたり、最も蕃地に相應しく併も同社はパイワン族人口二百五十六戸、人口一百五十五人從つて獻穀畑として獻納の全部を以て蕃社の經營に當らしめてゐる（以下は記事）

會文業個懇談會

臺東街新豫算

自慢街の十五年度豫算は大體纏成を終つたが十四年度十九万八千四十五年度は二十万四圓程度で他かに增を示してゐるが、目下臺銀當局方面に於て認可あり次第直ちに發表の豫定である、借入金が認められぬため何等目星しい事業が出來ぬが小學校半分の移轉と各學校二教室增築二百、水道擴張等二百、水道擴張等二百、水道擴張等